

従業員の健康サポートは 将来に向けた何よりの投資 若い世代にも早いうちから

みやざきバイオマスリサイクル 株式会社

平成30年度 健康宣言優良事業所『金』認定
令和2年度 宮崎県健康長寿推進企業等知事表彰
優秀健康長寿推進賞
2020・2021 健康経営優良法人(中小規模法人部門)
川南町大字川南4621番地1
TEL.0983-27-6810
従業員数：16名
■事業内容：鶏ふん焼却に伴う焼却灰の販売、焼却熱を利用した発電による電力の販売

●ここがポイント！

- ☑ 社員が健康であれば家族も会社も地域も幸せ
- ☑ 健康を害した場合のサポートも視野に
- ☑ 長い目で見て継続すれば成果はしっかり現れる



月2回程度ミニバレーなどのクラブ活動を行なっています

みんながウェアラブル端末を装着し歩数を計測しています



健康経営を始めたきっかけは？

きっかけとなったのは働き方改革です。2017年に改革に向けて当社の課題を抽出したのですが、その中の一つが「健康経営の充実」だったんです。発電所を動かすには資格が必要な上、当社は社員構成に余裕がないものですから、体を壊して休まれてもすぐに誰かが代わりをできる訳ではありません。ですから会社を挙げて健康対策をする

必要がありました。

具体的にはどういった取り組みを？

食・運動・禁煙という三つの柱を掲げて取り組みを行なっています。まず食への意識を高めるために管理栄養士を招いての勉強会を開催し、その後、体重計と血圧計を社内に設置しました。運動に関しては社内クラブ活動としてミニバレーを始めました。スマホ

アプリを使ったウォーキングキャンペーンも実施しています。三つ目の禁煙については喫煙所を屋外に移し、社内報で啓蒙活動を行なっています。

健康経営によって社員、そしてその家族が幸せになれば会社がしっかりとまわりますし、そうなれば地域も社会も幸せになる。健康経営にはそれだけの意義があると思います。

今後は健康を害した場合のサポートも検討しています。“予防”と“対応”をセットで考えなければ口だけの健康経営になってしまいますからね。



健康経営の すすめ

総務部主任 山下 ふみ

健康経営に取り組んだからといってすぐに効果が現れる訳ではありません。年齢や生活習慣が異なれば健康意識にも差がありますので、社員全員に行き届くような健康対策が必要です。今のうちから取り組んで、長い目で見て継続すれば、将来しっかり成果に現れると思います。